

ゼネラルパッカー通信

# INVESTORS' GUIDE

2020年7月期(第59期)中間

2019.08.01→2020.01.31



世界の品質を  
”包装”で守る

証券コード 6267

包装システムのトータルプランナー  
 **ゼネラルパッカー株式会社**



## 第5次中期経営計画の達成を視野に、 国内市場の**安定的な** 収益の**確保**と 海外市場での**成長加速**を 目指します。

株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業への厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。ここに当社第59期第2四半期累計期間(2019年8月1日から2020年1月31日まで)の営業状況と通期の見通しをご報告させていただきます。ご一読の上、当社事業へのご理解とともに、今後の成長に一層ご期待くださいますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **牧野 研二**

### 当期前半の事業環境と営業活動の成果

包装機械業界の事業環境は、国内の需要は堅調に推移しているとともに、輸出においてもアジア地域向けが好調に推移しています。品目分類においては、当社の主要対象市場である製袋充てん機の生産金額が2019年において前年比4.9%減となっておりますが、高水準が続いています。(経済産業省 生産動態統計より)

当社の包装機械の業績においては、売上高は高価格機種の販売台数増加により、前年同期比1,343百万円の増加となりました。また、海外市場での高額案件の受注が減少した

ことにより、機械受注高は前年同期比87百万円、機械受注残高は前年同期比39百万円の減少となりました。

食品機械業界の事業環境は、国内の需要は弱含みになっているとともに、輸出は主力のアジア地域向けが減少基調で推移しています。製パン・製菓機械においても、2019年の生産額は前年比14.4%減となり、減少基調となっております。

当社の生産機械の業績においては、大型プラントに係る付帯設備の実績が減少したことから、売上高は前年同期比158百万円の減少となりました。受注動向に関しましては、大型プラントの受注実績が無かったことから、機械受注高、機械受注残高ともに前年同期と同等となっております。

### 第5次中期経営計画の最終年度の進捗

第5次中期経営計画(2018年7月期~2020年7月期)は、「さらなる成長に向けて海外事業の拡大を目指す」を基本戦略に掲げています。また、3年間の計画期間を「連結グループの基礎固めから成長基盤構築の時期」と位置付け、連結決算での利益率の向上と収益の拡大を図ることに取り組んでおります。

最終年度となる当上期は、国内市場としては主力機種となるメカトロハイスペック包装機の拡販に注力しております。受注は好調に推移しており、自社包装機の受注は前年同期を上回りました。今後、さらなる拡販に向けて、オプション機能の充実と新機種の投入に取り組んでいきます。

海外事業の拡大については、中国子会社での生産・アフターサービス体制の確立に取り組んでいます。中国子会社の当上期売上高は、大型ラインの実績により前年同期を大きく上回りました。販売体制の強化として、既存代理店の販売支援に取り組んでいますが、当期は、アメリカ代理店による販売台数が増加しています。引き続き、アメリカ市場と中国市場の開拓強化に取り組んでいきます。

2020年7月期の中間数値目標につきましては、第2期の2019年7月期の実績で当初業績目標を上回りましたので、2019年9月6日に上方修正しておりますが、当期の業績予想では、全ての目標項目を達成できる見通しです。

### 当期後半の見通しと通期業績予想

当期後半の業績は、包装機械においては、当上期に対して減収と販売管理費の増加により、営業利益は減益となる見通しです。生産機械においては減収により、営業利益は赤字となる見通しです。

通期業績見通しにつきましては、売上高8,900百万円(前期比6.9%増)、営業利益700百万円(前期比5.6%減)、経常

利益700百万円(前期比6.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益490百万円(前期比6.5%減)を見込んでいます。なお、利益の予想数値につきましては、当上期の実績が計画を上回ったことから、上方修正しております。

### 株主の皆様へのメッセージ

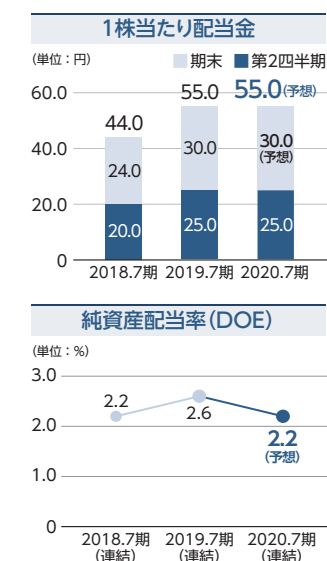
2020年7月期の中間配当は、予定通り1株当たり25円とさせていただきます。期末配当につきましては、業績予想を上方修正したことから、期初予想より5円増配して30円としています。年間では、2019年7月期と同額の55円を予定しております。

当社は食品や医薬品を安全・確実に包装する技術を通じて、より大きな社会貢献を果たせるよう、一層の努力を重ねるとともに、業績の向上と企業の健全性に努めていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社事業への継続的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ■株主還元方針

株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、連結配当性向30%または連結純資産配当率(DOE)2%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指しています。



経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の弱さが続く中で製造業を中心に弱さが増しているものの、雇用・所得環境の改善や高水準の企業収益などを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。このような状況の中、当社グループは海外事業の拡大、グループ会社間の事業連携強化、生産力の強化に取り組んでまいりました。

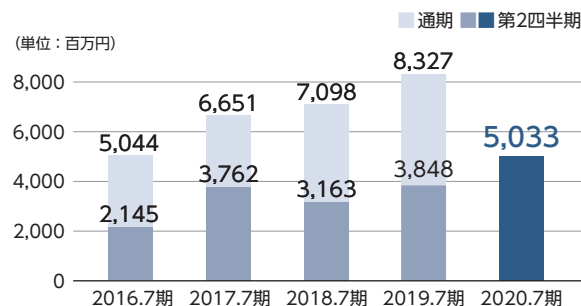
当第2四半期連結累計期間における売上高は、包装機械事業において主力商品の販売が好調に推移したことから、

前年同期に比べ1,184百万円の増収となりました。利益につきましては、包装機械事業における増収効果により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ増益となりました。

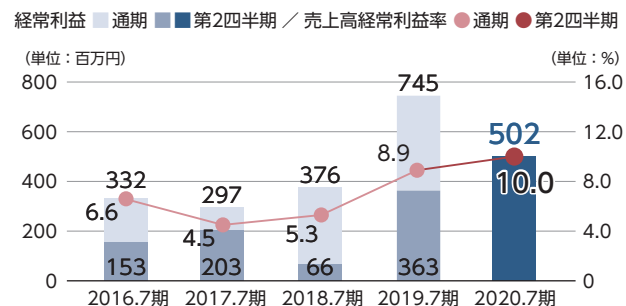
セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

包装機械事業は、売上高4,361百万円(前年同期比44.5%増)、営業利益は471百万円(前年同期比51.8%増)となりました。また、生産機械事業は、売上高は672百万円(前年同期比19.1%減)、営業利益は31百万円(前年同期比38.0%減)となりました。

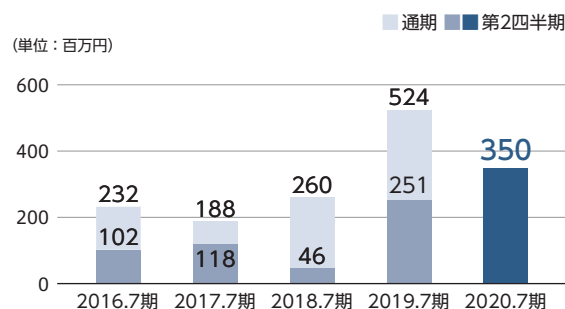
売上高



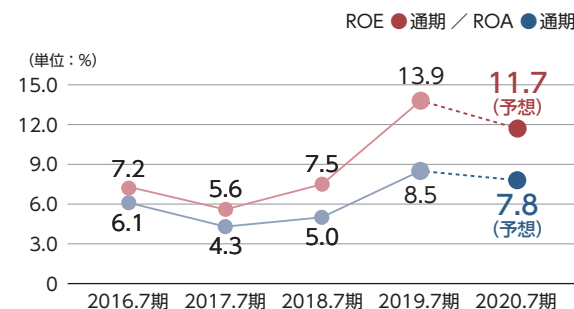
経常利益/売上高経常利益率



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

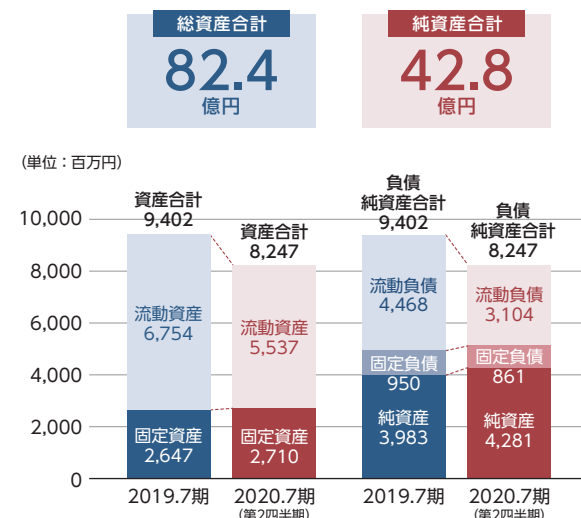


ROE/ROA

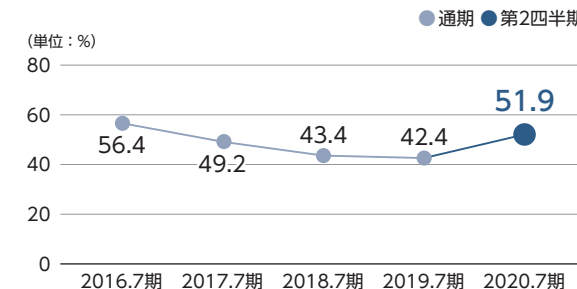


(注) 2016年9月1日付でオサ機械株式会社を完全子会社化いたしました。そのため、2016年7月期は単体、2017年7月期以降は連結決算となっております。

財務状況



自己資本比率

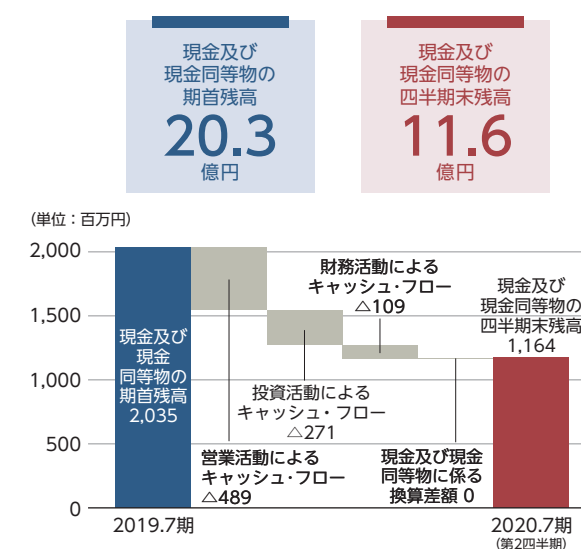


財務分析

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は8,247百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,154百万円減少いたしました。この主たる要因は、現金及び預金が770百万円、棚卸資産が508百万円、それぞれ減少したこと等によります。

負債合計は3,966百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,452百万円減少いたしました。この主たる要因は、前受金が423百万円、仕入債務が339百万円、その他流動負債が533百万円、それぞれ減少したこと等によります。

キャッシュ・フローの推移



キャッシュ・フロー分析

営業活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ40百万円増加し489百万円となりました。収入の主な内訳は、たな卸資産の減少額508百万円、税金等調整前四半期純利益502百万円等であり、支出の主な内訳は、前受金の減少額423百万円、仕入債務の減少額339百万円、法人税等の支払額178百万円、その他の流動負債の減少額515百万円等です。



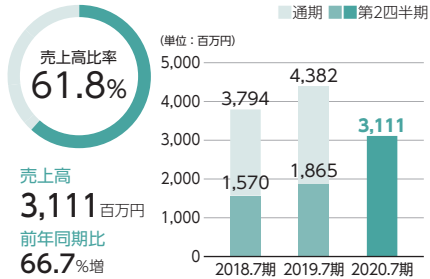
包装機械



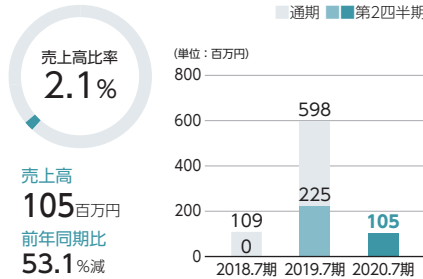
包装機械事業におきましては、給袋自動包装機の販売台数が増加したこと等から、売上高は4,361百万円(前年同期比44.5%増)、営業利益は471百万円(前年同期比51.8%増)となりました。



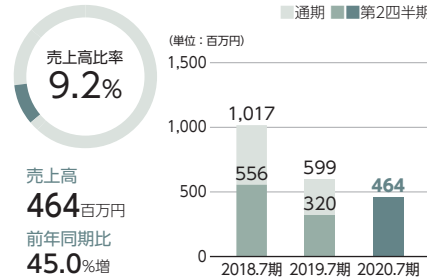
給袋自動包装機(ガス充填自動包装機含む)



製袋自動包装機



包装関連機器等



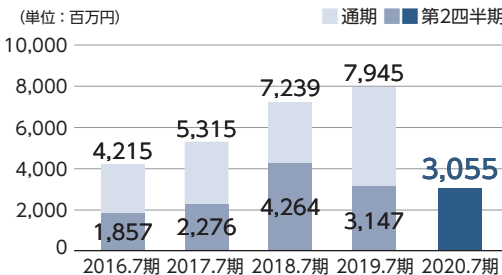
生産機械



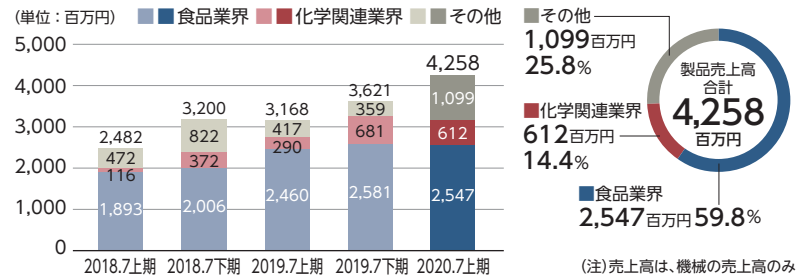
生産機械事業におきましては、大型プラント案件にかかる付帯設備の販売実績が減少したことに伴い、売上高は672百万円(前年同期比19.1%減)、営業利益は31百万円(前年同期比38.0%減)となりました。



機械受注高



最終ユーザー業界別売上高



会社概要

商号	ゼネラルパッカー株式会社
英文社名	GENERAL PACKER CO., LTD.
設立	1966年2月(創業 1961年12月)
資本金	2億5,157万7千円
事業内容	各種自動包装機械及び周辺装置の製造・販売、食品製菓機械の製造・販売
従業員数	179名(連結) 149名(単体)
本社・工場	〒481-8601 愛知県北名古屋市宇福寺神明65番地 Tel.(0568)23-3111(代) Fax.(0568)22-3222
東京営業部	〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-5-8 KDX神田北口ビル4F Tel.(03)3256-3891(代) Fax.(03)3256-3893
子会社	オサ機械株式会社 蘇州日技通用包装机械有限公司

(2020年1月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	5,600,000株
発行済株式総数	1,798,800株
株主数	563名

(2020年1月31日現在)

大株主

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社FAMS	270,000	15.03
ゼネラルパッカー従業員持株会	233,900	13.02
MSIP CLIENT SECURITIES	86,400	4.81
株式会社りそな銀行	78,400	4.36
高野 季久美	77,800	4.33
田中 かな	77,800	4.33
ゼネラルパッカー取引先持株会	77,600	4.32
梅森 輝信	53,700	2.98
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	47,985	2.66
島末 孝法	39,200	2.18

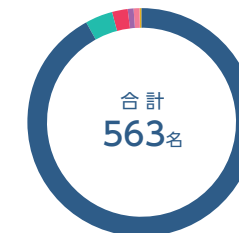
(2020年1月31日現在)

役員

代表取締役社長	牧野 研二	
取締役副社長	小関 幸太郎	オサ機械(株) 代表取締役
常務取締役	鈴木 完繁	オサ機械(株) 代表取締役社長
取締役	尾関 津義	蘇州日技通用包装机械有限公司 董事長
取締役	水野 智之	オサ機械(株) 取締役
社外取締役(監査等委員)	福井 義雄	
社外取締役(監査等委員)	村橋 泰志	
社外取締役(監査等委員)	浅井 一郎	
社外取締役(監査等委員)	森田 卓寿	

(2020年1月31日現在)

株主数構成比



株式数構成比



種別	人数	比率	株数	比率
個人・その他	518名	92.01%	1,213,580株	67.47%
その他法人	23名	4.08%	344,680株	19.16%
証券会社	12名	2.13%	127,385株	7.08%
金融機関	5名	0.89%	88,500株	4.92%
外国人	4名	0.71%	23,184株	1.29%
自己名義	1名	0.18%	1,471株	0.08%

(注)2016年9月1日付でオサ機械株式会社を完全子会社化いたしました。そのため、2016年7月期は単体、2017年7月期以降は連結決算となっております。

## IRサイトでも、詳しい情報を提供しています。

当社ホームページでは、新着情報、会社情報、商品情報、IR情報等、様々な情報をご提供しています。今後も皆様にお役立ていただけるよう掲載情報の一層の充実を図ってまいります。

▼トップページ

▼IRページ



企業ホームページ

## 最優秀サイト

日興アイ・アール  
新興市場ランキング

## 9年連続受賞

### 主なコンテンツ

#### 経営方針・戦略

当社の企業ビジョンや中期経営計画、CSR情報などをご覧ください。

#### 決算・IR資料室

アナリスト向けの決算説明会の様子が動画でご覧いただけます。

### 個人投資家の皆さまへ

業界情報や事業内容や特長、配当についてわかりやすく解説しています。

<http://www.general-packer.co.jp/ir/>

### 株主メモ

事業年度	8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	10月
基準日	定時株主総会 7月31日
	期末配当金 7月31日
	中間配当金 1月31日
	その他あらかじめ公告する一定の日
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社

同事務取扱場所	〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
お問い合わせ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 Tel. 0120-707-843 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載URL	<a href="http://www.general-packer.co.jp/">http://www.general-packer.co.jp/</a>

#### 各種手続きのお申出先

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- ・住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等証券保管振替機構(ほふり)をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。証券保管振替機構(ほふり)をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

## 包装システムのトータルプランナー ゼネラルパッカー株式会社

### 本社・工場

〒481-8601 愛知県北名古屋市宇福寺神明65番地  
Tel. (0568) 23-3111 (代) Fax. (0568) 22-3222

### 東京営業部

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町三丁目5番地8 神田木原ビル4F  
Tel. (03) 3256-3891 (代) Fax. (03) 3256-3893

